

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	今後エコアクション21取得を目指す			3.9				6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】ホームページなどで公表する														12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	薪など木質燃料を生産、個人や発電所に供給している。								7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	林業・森林整備事業を通じて、地域の森林資源の活用に取り組んでいる。															12.2	13	14	15		
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動指針に規程 現場統括会議で随時点検確認している																			16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動指針に規程 コンプライアンス研修により周知。																			16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	行動指針に規程 コンプライアンス研修により周知。									8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護規程を制定している。																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱っていない																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	今後取り組む					5						8		10		12	13	14	15	16	17
28		製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	森林経営計画に基づき森林の施業と保護を計画的に実施している。 作業道作設置基準をにより長期安全に使える作業道づくりを実施			3.9												12.4				
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	森林施業提案書による見積もりと精算報告書 作業道設計基準の遵守 行動指針に規程												9								
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	森林経営計画の認定を受け、環境に配慮した森林整備を実施している。							6								12	13	14	15		
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	荒廃森林の整備と保全の事業を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	企業理念に明文化。行動指針に規程 森林施業プランナーが森林所有者および地区協議会と常時交流				4						9		11	12		14	15		17		
33	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域の諸活動への寄付。 森林ボランティアへの技術支援				4									11	12		14	15		17	
34	地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の森林から木材を生産し、地域の製材業者や薪利用者に供給している。										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	企業理念を制定している。 企業理念チームにより、周知と実行を啓発している。										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	行動指針に制定している																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	広報チームにより広報体制を整備 森林施業プランナーの活動を通して、社会・環境に配慮した森林施業の提案と継続的造林事業を実施																				16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	森林施業プランナーにより、森林所有者への説明、事業報告などを逐次実施している。																			16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	安全指導チームによるリスク把握 現場におけるリスクアセスメントの実施																				16
40		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	事業の説明責任を果たすために、広報チームを組織し、webおよび広報誌を活用して説明責任を果たすとともに、地域の森林環境の改善を通じた社会・環境に貢献する事業を展開している。																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	各事業現場単位でも事業が行えるように、分散型管理体制で事業を実施。 【予定】事業継続計画整備												9		11		13	13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	持続的な事業継承計画を策定し継続的に実施している。											8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
実施中	持続可能な森林管理の実践			民有林の長期受託を通じて、集約化をすすめ、森林経営計画に基づいた、持続可能な森林管理森林経営を実践している。																
チャレンジ	経営林において森林認証を取得する			森林経営計画を樹立したすべての森林において、持続可能に管理された森林から生産された木材であることを客観的に認証し市場に流通させるために、森林認証を取得する。																

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。
(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)